



9月の園だより

令和7年9月1日

目黒区立田道保育園園長

園庭にでるとトンボが飛び始めました。春先に田植えをした稲は子どもたちの背丈ほど伸びて穂がついてきて、秋の訪れを感じさせます。

先月は暑い日が続き、水遊び、プール遊びが十分にできて、子どもたちの笑顔がたくさん見られました。5歳児クラスは集めた牛乳パックをテープで止めて連結していかだを作りました。牛乳パックの向きを考えたり、しっかり浮くようにと



「発泡スチロールをつけて見たらどう」とアイディアを出したり、子どもたちは互いの意見を出し合い、工夫したり考えながら作っていました。完成したいかだをプールの中に入れると「うまく浮くかな」「壊れないかな」とドキドキが伝わってきます。水の中に置くと浮かび「浮かんだね」と一安心した表情を見せました。次の問題は乗ることができるかです。浮かんだいかだに「せーの」と数人で飛び乗りました。壊れることなく、沈むことなく乗ることに成功しました。「やったー。大成功」と大喜びです。協力して作ったので嬉しさをみんなで分かち合っていました。今年度はまだまだ暑さが続くので、9月5日（金）までプール遊びを延長します。先月のプール遊びでは、子ども一人ひとり目標は違うけれど、鼻まで水につけてワニ歩きができるようになった、顔をつけられた、けのびができたなど子どもたちの表情には達成感で笑顔に満ち溢れている姿を実感しました。この達成感を糧に運動会では、それぞれの目標に向かい力いっぱい取り組む姿を励まし見守っていきたいと思います。

今月の予定

引き渡し訓練

※中旬 身体計測



『 虫も花も大好き！みんなでワクワク 』 ～副園長エピソード～

田道保育園の自然豊かな環境には驚くことも多く、園庭に咲くランタナという花を初めて知りました。ランタナの花を散りばめた自慢の砂ケーキは、子どもたちの中でも人気です。オシロイバナもたくさん咲いていて、「手で押すとね、ピンクの色がいっぱい出るんだよ」と色水遊びを楽しんでいます。先日、5歳児クラスでクモを見つけテラスへ逃がしました。すると「えっ何を逃がしたの。カナヘビの餌になったのに」「あー痩せちゃうよ」と、落胆の声があがりました。初めのうちはカナヘビのしっぽを掴むなど、触れることだけに夢中でしたが、どうしたら生きられるのかなと考え思う気持ちにつながっていました。継続して関わる経験を通して、生き物への愛情が育まれたり、命の大切さを感じたり様々な発見を楽しめるよう、大人も一緒にワクワクしながら遊びの中での学びを大切にしていきたいと思います。



